

1995年 (平成7年) 5月1日号

No.675

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

芦屋市の人口と面積

<平成7年4月1日推計人口>

人口総数	82,051	世帯数	32,144
男	38,202	面積	17.31km ²
女	43,849		

全国からの派遣職員が到着

阪神・淡路大震災からの早期復興を図るため、全国の各自治体から派遣していただいた八十一人の職員が本市に到着し、四月十日、辞令交付式が行われました。

北は札幌市から南は北九州市まで、全国各地からお集まりいただいた派遣職員の皆さん



よくお願いします、と一人ひとりに辞令を

は、いずれもそれぞれの自治体の第一線で活躍しておられるかたで、その経験や専門知識・技術を活かして、

今後、芦屋の復興にご尽力いただくことになりました。

派遣期間はおおむね一年で、その間は芦屋市職員として、主に都市整備や建築、道路、下水、住宅等の部署で、復興事業関係の業務に従事していただきます。

一人ひとりに対する辞令交付のあと、北村市長が「皆さんの思いを結集し、全力で復興に取り組みたい。美しい芦屋の再生に、ぜひお力を貸していただきたい。」とあいさつ。

これを受けて、大阪から派遣された松下益治さん(都市整備課配属)が代表で、「身の引き締まる思いです。芦屋市の職員として一日も早く

復興を目指し、全力を尽くします。」と決意を述べました。

また、市ではこれに先立ち、四月一日に定例の人事異動を行い、復興に向けての体制強化を図りました。これを機会に、職員全員いっそう気を引き締めて、新たな気持ちで復興に取り組んでいきます。

▼問い合わせ 人事課 ☎3812019

二万五千人のボランティア活動

震災直後、全国各地の若者からの「ボランティアとして芦屋に行きたい」という電話が、本市に殺到しました。

その後も、ボランティアの人数は日を追うごとに増え続け、土・日曜のピーク時で一日あたり七百人に達し、登録人員数は五千五百人、三月三十一日までの延べ活動者数は、二万五千人にのびりました。

ここでは、ボランティアの皆さんの力強い活動の様子を紹介します。

ボランティア委員会を結成

一月二十日までに二百人の応援体制となったボランティアの皆さんに対し、市として受け入れ組織を編成しようと検討した結果、二十一日に「芦屋市ボランティア委員会」(以下、委員会)が結成されました。

これにより、市内におけるボランティア活動は委員会がコーディネー



明るい笑顔に励まされる高齢者のかたも

ト役になり、行政との協調体制をとるといふ、ユニークな活動が展開されることになりました。

活動の内容は、物資搬入・配送、給水支援、炊き出し、カウンセリング、風呂の手伝い、情報収集、仮設住宅移転の手伝い、家屋補修支援、避難所の手伝い、リフレッシュ事業企画、その他市行政に対する応援な

ど多岐にわたり、被災者の皆さんからは、これらの活動に対する心温まる感謝の言葉や、お手紙を数多くいただきました。

ニーズにこたえ 幅広い活動を展開

給水支援は、早朝の五時三十分

起床。約百カ所の給水場所に六時に集合して給水作業を手伝ったり、高齢者のかたの家までポリタンクを運んだりといった作業が続けられます。エレベーターの動かないマンションの六階・七階まで、水を階段で運ぶというたいへんな場面も多々ありました。

炊き出し事業は、初期のころは、炊き出しの支援団体のお手伝いを中心でしたが、後半は、委員会として独自に各地の農協の協力を



給水活動の手伝いも喜んでいただきました

得て材料を調達し、被災者の皆さんの栄養のバランスを考えながら、避難所で温かい食事を提供しました。

リフレッシュ企画事業は、岡山県等の温泉組合との協力を得て、被災者の皆さんに心のリフレッシュをしていただくため、無料の温泉旅行を企画しました。参加者の皆さんは、千二百人にも達し、教えられるほどの感謝の言葉をいただきました。

仮設住宅移転、家屋補修支援、家財運搬手伝い事業は「おたすけ隊」を編成しました。特に、高齢者のかたなどに対する力仕事のお手伝いが多く、現在でも数多くの申し込みが続いています。

また、二月二十六日には皇太子ご夫妻がボランティアアテント村をご訪問され、テントの中で共にミーティングの場を持ち励ましのお言葉をいただきました。



栄養のあるものを、おいしく、あたたかく

さらに、芦屋のボランティア活動は他市にないユニークなものであるとしてマスコミにも取り上げられ、全国の注目を集めました。

芦屋の復興に力をあわせて

このような活動を振り返ると、震災発生当初から現在に至るまでのボランティアの果たした役割は、言葉では言い尽くせないものがあります。

しかし、まだこれからも、仮設住宅への支援など、多くのニーズがあるため、委員会では、より多くのかたがたの活動参加を呼びかけています。

四月に入り、ボランティアのテント村から各地へ帰っていく人が多くなりました。

「また必ず芦屋にきます。がんばってくださいね。」と言葉を残して帰っていくボランティアの皆さんの気持ちに伝えるためにも、芦屋のまちが以前にもまして美しい、国内外に誇れるまちとして、一日も早く復興できるよう、市民の皆さんと共にがんばっていきたいと思います。

▼問い合わせ

災害対策本部ボランティア班 ☎3812008
ボランティア委員会本部 ☎2217040

ごあんない REPORT

募集

■ 国勢調査調査員

10月1日に行われる国勢調査は、国際化、高齢化に係わる施策をはじめ、21世紀を展望した諸施策を実施するために必要なものであり、また、震災からの復興施策の基礎となる大変重要な調査です。市では、調査員としてご協力いただけるかたを募集しています。問い合わせは、総務部総務課文書統計係(☎38-2010)へ。

おしらせ

■ 精道保育所の園庭開放

地域との交流を図るため、園庭を開放します。保育所の子どもと一緒に、リズムで体を動かしたり遊具を使って遊びませんか。●日時…5月から9月は第2・4木曜日、10月から3月は毎週木曜日、いずれも10時から11時30分まで●会場…精道保育所(精道町9-16)●問い合わせ…精道保育所(☎32-0510)

■ 子育てに関する電話相談

子育てに不安があるお父さん・お母さん、お気軽にご相談ください。保育の専門家が相談に応じます。●日時…月曜日から金曜日の9時から12時まで●相談の専用電話…精道保育所(☎34-4736)

■ 市内文化財資料の保護について

美術博物館では、被災された市民のかたの貴重な文化財資料(芦屋に関する歴史資料、古文書・近代写真・郷土資料など)を一時保管します。将来、寄託・寄贈手続きも可能ですのでお気軽にご相談ください。問い合わせは、文化財課(美術博物館内 ☎31-9066)へ。

■ 公民館からのお知らせ

市民センターが避難所になっていますので、公民館講座・芦屋川カレッジ・芦屋市展は当分の間、開催できません。また、公民館図書室も休室していますのでご了承ください。詳しくは、公民館(☎31-4995)へ。

■ 危険物取扱者試験

●日時…6月18日(日)10時～●会場…神戸市ほか●内容…乙種全類・丙種●受付期間…5月8日(月)～11日(木)●問い合わせ…消防本部予防課危険物係(☎38-2098)

■ 緑の相談所再開のお知らせ

緑の相談所は、5月10日(水)から再

開します。なお、緑の相談所は、緑化協会仮設事務所内(西芦屋町4-14)に移転していますのでご注意ください。電話相談(☎34-0031)も受け付けています。また、芦屋浜サービスコーナーでの緑の相談も5月の第3月曜日(5月は15日です)13時から15時まで再開します。問い合わせは緑化協会(☎38-2103)へ。

■ 育児休業法がすべての事業所に適用になりました。

1歳未満の子を養育する男女労働者(一部除外者があります)は、育児休業を取得することができます。育児休業を取得しない場合、事業所が講じる勤務時間短縮等の処置を申し出ることができますが、期間中の賃金等の処置は、事業所により異なります。また、この期間中は、社会保険(健康保険、厚生年金保険)の保険料の本人負担分が、申請により免除されます。問い合わせは、兵庫婦人少年室(☎078-332-7045)へ。

■ 確定申告の期限

自営業者などのかたの確定申告の期限は、申告所得税・個人の消費税とも、平成7年5月31日までです。なお、被災により、相当の期間平成6年分の申告等ができないかたは、申告所得税は、平成8年3月15日まで、また、個人の消費税は、平成8年4月1日までに申告をしていただければよいこととなっています。問い合わせは、芦屋税務署(☎31-2131)へ。

■ 法律・税務・融資の無料相談所を開設

5月24日までの毎週水曜日(3日を除く)の13時から16時までの間、芦屋納税協会において弁護士や税理士などが相談をお受けします。問い合わせは、芦屋納税協会(☎31-5318)へ。

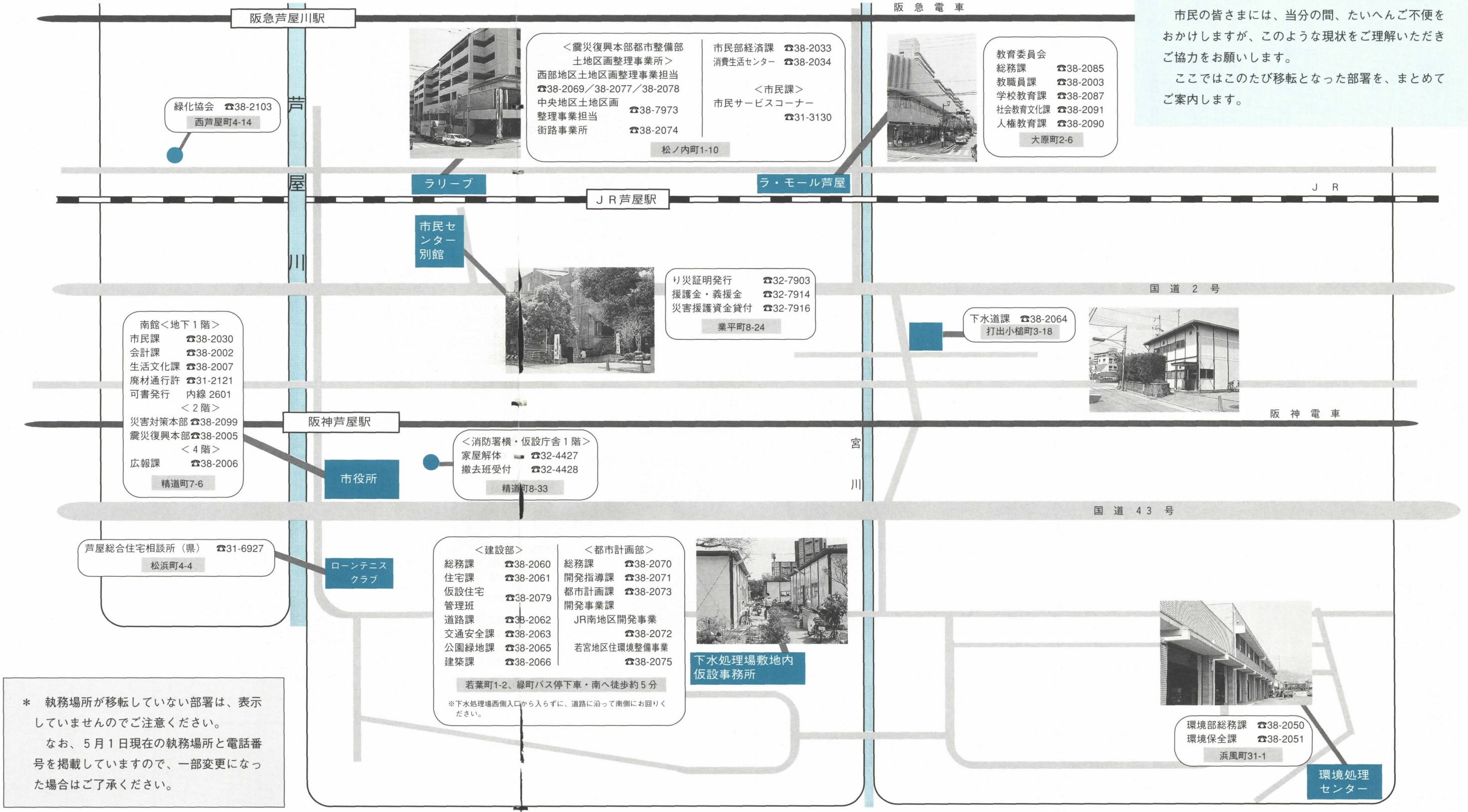
■ ASHIYA生活情報センター

電話での生活関連情報のお問い合わせに対し、情報センターのパソコンに登録されている情報を、月曜日から金曜日の(祝日を除く)10時から17時までお伝えしています。また、情報をパソコンで検索し、お答えするボランティアを募集しています。ボランティアを希望のかたは、住所・氏名・電話番号・活動可能日・時間帯をFAXでお知らせください。問い合わせは、ASHIYA生活情報センター(☎31-6979・FAX31-9905)へ。

■ 芦屋総合住宅相談所

被災されたかたの住宅復興を支援するため、住宅融資や募集などの情報提供や各種住宅相談に応じています。●相談時間…月～土曜日 10時～17時(祝日を除く)●場所…芦屋国際ロウンテニスクラブハウス内(芦屋公園南側)●問い合わせ…芦屋総合住宅相談所(☎31-6927)

市役所の執務場所が一部移転しています



* 執務場所が移転していない部署は、表示していませんのでご注意ください。

なお、5月1日現在の執務場所と電話番号を掲載していますので、一部変更になった場合はご了承ください。

あしやNOW

「あしやNOW」前半は、震災以後、精神的に復旧活動を支援していただいた自衛隊の活動と支援終了式などの様子を紹介します。また、「フレッシュリポート」では、仮設住宅について、「リポーター企画番組」では、震災で大きな打撃を受けた、マンションの補修や建て替え問題について、その解決に向けた複雑な法律問題をリポートします。

*番組内容・時間帯などは変更になる場合もありますのでご了承ください。

広報チャンネルに関する問い合わせ

広報チャンネル番組ガイド 9CH

放送開始	5/1 (10:00～) ~ 5/14
6:00 8:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00	あしやNOW 5月前半
6:30 8:30 10:30 12:30 14:30 16:30 18:30 20:30	市民リポーター企画番組
6:53 8:53 10:53 12:53 14:53 16:53 18:53 20:53	文字放送 大型ゴミ収集日、救急当番医
7:00 9:00 11:00 13:00 15:00 17:00 19:00 21:00	ひょうごチャンネル (月曜日に内容更新)
7:30 9:30 11:30 13:30 15:30 17:30 19:30 21:30	ニッポンみたまま〜元気印65歳はまだ現役だ〜

広報課 38-2006 / CATV加入に関する問い合わせ CCA 0120-181-344 (フリーダイヤル)

生け垣の設置・壁面の緑化で美しいまちづくりを

このたびの阪神大震災で、多くの塀が倒壊しました。新たに塀などを設置されようと考えられているかたは、この際生け垣にされたらどうでしょうか。生け垣等で美しいまちを取り戻しましょう。

緑化協会では、下記のような助成を行っています。

- 生け垣をつくる向き→植栽延長1mあたり2万円以内(工事費の2分の1まで、総額20万円限度)
- ツタなどを塀等にはわすき→植栽延長1mあたり1万円以内(工事費の2分の1まで、総額10万円限度)
- ブロック塀などを取り壊して生け垣をつくる向き→塀の延長1mあたり8千円以内。ただし植栽延長を超えないもの(工事費の2分の1まで、総額8万円限度)

問い合わせ 緑化協会☎38-2103

芦屋市カウンセリングセンター再開

相談受付 月曜日から金曜日(祝日を除く)の午前10時から午後5時までに、まずお電話ください。(面談は随時)

会場 体育館・青少年センター3階(カウンセリング室・プレイ室)

相談内容 心理・登校拒否・学習・性・教育・ストレスなどについて、大学教授・臨床心理士など専門カウンセラーが面接相談に応じます。(電話相談も可)

問い合わせ 芦屋市カウンセリングセンター☎23-5998・23-5999

芦屋ハートフル福祉公社職員募集

募集期間 5月1日(月)～5月19日(金) <採用予定日 6月15日>

試験日時 5月28日(日)午前9時30分～(登録ヘルパーは別途通知)

試験会場 芦屋市商工会館/試験内容 教養・作文・面接

申込方法 市販の履歴書(上半身の写真添付)を郵送または持参

職種・雇用形態・条件など

- ケースワーカー 常勤職員1人 昭和40年4月2日以降生まれで社会福祉主事の資格を有する(見込みの)人 大卒22歳諸手当込み月額181,020円
- ホームヘルパー

①常勤職員2人 昭和30年4月2日以降に生まれた人 高卒18歳手当込み月額 151,520円 ②非常勤職員(登録ヘルパー)若干名 昭和8年4月2日以降に生まれた人 時給(謝金)1,000円標準、61歳以上900円標準

*常勤職員の給与は給与月額に調整手当と特殊勤務手当を加算した額です。給与の額は平成7年4月1日現在の額です。

問い合わせ (財)芦屋ハートフル福祉公社 浜芦屋町3-26 ☎38-3122

PRESERVATION OF HEALTH & ENVIRONMENT

保健と環境

芦屋病院 ☎: 31-2156
 保健センター ☎: 31-1586
 芦屋保健所 ☎: 32-0707
 環境サービス課 ☎: 22-2155

■日曜・祝日救急当番医

- 内科 9:00~17:00
 芦屋市医師会 ☎32-2000
- 3日 山田医院(内) 南宮町11-16 ☎22-9351
 4日 大谷整形外科クリニック 大原町11-24-216 ☎34-7077
 5日 柿沼産婦人科 公光町7-11 ☎31-1234
 7日 小泉小児科医院 西山町11-17-203 ☎32-3014
 14日 石井医院(内) 西山町11-17-202 ☎32-2810
 21日 重信医院(内・小) 西蔵町11-24 ☎22-0329
 28日 宮本産婦人科医院 呉川町15-23 ☎31-0380
- 歯科 9:00~12:00
 芦屋市歯科医師会 ☎23-6471
- 3日 依藤歯科医院 宮塚町1-13 ☎22-5941
 4日 花岡歯科医院 竹園町6-4 ☎38-5533
 5日 増田歯科医院 親王塚町11-15 ☎22-5359
 7日 石原歯科医院 親王塚町1-4 ☎31-1388
 14日 稲垣歯科医院 大原町5-19 ☎22-2870
 21日 上住歯科医院 宮塚町11-24 ☎34-1560
 28日 翠ヶ丘歯科医院 翠ヶ丘町1-17 ☎22-6941

夜間在宅輪番
 ●時間…夜間(毎日)21時~翌7時
 ●問い合わせ…消防本部(☎32-2345)
 耳鼻咽喉科・眼科の急病診療
 ●診療日…日曜日および祝日、9時~16時
 ●場所…尼崎医療センター(尼崎市水堂町3-15-20 ☎06-436-8701)

大型ゴミの収集日

大型ゴミに出す物の大きさは、灯油缶を目安にしてください。また、自転車などを出す場合は、必ず「不用品」と張り紙をしてください。

町名・地域	5月	6月
山芦屋・西山・西芦屋	1 29	26
朝日ヶ丘	2 30	27
伊勢・竹園・浜芦屋・松浜	3 31	28
月若・三条・平田・奥池地区	4	1 29
茶屋之・大樹・公光・業平・上宮川	5	2 30
宮塚・平田北	6	3
楠・春日	8	5
六麓荘・岩園	9	6
船戸・松ノ内・清水・前田	10	7
山手・奥山・三条南	11	8
東山・東芦屋	12	9
打出小槌・若宮・打出	13	10
大東・呉川	15	12
翠ヶ丘	16	13
南宮・西蔵	17	14
大原・親王塚	18	15
津知・川西・精道・宮川	19	16
浜	20	17
高浜1~4	22	19
高浜5~9	23	20
若葉1~3・緑	24	21
若葉4~7	25	22
浜風・新浜	26	23
潮見	27	24

■病院だより一芦屋病院健康教室

当病院の医師・看護婦・医療技師・薬剤師・栄養士を講師とし、身近な健康問題をとりあげて、「健康教室」を開いています。費用は無料ですので、ぜひご参加ください。

- 第2回 テーマ「骨粗鬆症」
 日時 5月17日(水) 午後1時30分~3時
 会場 芦屋病院 外来棟5階待合ホール
 司会 辻林啓幸整形外科主任医長
 内容
 ①骨粗鬆症とは 植村和司整形外科副医長
 ②骨粗鬆症の女性ホルモン補充療法 亀田隆産婦人科主任医長
 ③薬物療法 潮祐江薬剤師
 ④骨を強くする食事 横田かおる管理栄養士
 ⑤「転ばぬ先」の運動療法 近藤康三リハビリテーション科技師長補佐
 ⑥骨粗鬆症による骨折を予防するために 小林真智子主任看護婦

- 今後の予定
 第3回 6月21日(水)「むし歯と歯周病」
 第4回 7月19日(水)「胆嚢結石症」
 第5回 9月20日(水)「白内障と緑内障」
 第6回 10月18日(水)「貧血を防ぐために」
 第7回 11月15日(水)「胃癌と大腸癌」
 問い合わせ 芦屋病院総務課管理係

●小児マヒ(ポリオ)ワクチンの服用

- 日時 5月1日(月)、12日(金)、16日(火)、31日(水) 午後1時30分~2時30分
 会場 芦屋保健所
 対象 平成6年2月1日から平成7年1月31日の間に生まれた乳幼児と、今まで2回の服用が済んでいない90カ月(7歳6カ月)までの小児
 費用 無料

保健センター

阪神芦屋駅から北へ200m

内容	日時	対象・経費・その他
ツベルクリン反応検査 ツ反判定・BCG接種	今月はありません	—
1歳児健康診査	委託医療機関で実施	(無料)
育児相談(予約制)	今月はありません	—
1歳6カ月児健康診査	18日 13:15~14:15	H5.10.16~11.15生まれ (母子健康手帳持参)(無料)
母親学級	10日・17日 13:30~16:00 24日(予約制) 10:00~13:30	母子健康手帳とテキスト 代250円持参、3回目調理 実習、材料費650円持参
在宅寝たきり者 訪問指導	保健センターにお 申し込みください	在宅で40歳以上の寝たき り、準するかた(無料)
在宅寝たきり者歯科 訪問指導	保健センターにお 申し込みください	在宅で65歳以上の寝たき り、準するかた(無料)
市民健診 (肺がん検診40歳以上)	23日 9:30~10:30	16歳以上→胸部X線・血 圧・検尿(無料)40歳以上 →前記の他 心電図・採血 (絶対絶食400円)
貧血検査		16歳以上(130円)
健康チェック (予約制)	6月分予約受付中	35歳以上(成人病予防11 項目5500円)
栄養相談(予約制)	23日 9:30~11:30	(無料)
健康相談	16・23日 13:00~15:00	成人を対象に医師による 相談(無料)
胃がん検診(予約制)	1・8・11・15・18・22・25 29・6/1日 9:15~10:30	35歳以上(1000円)
子宮(頸部)がん・ 乳がん検診	随時(医療機関で診 療時間内の午前中)	30歳以上。子宮がん(1000 円)乳がん(400円)
大腸がん検診	受付随時。提出日:2・9・ 16・23・30日午前中	40歳以上(800円)、採便容 器を渡し、とり方の説明
歯の無料相談と健診	17日 13:00~14:30	(歯科医師会館)
献血	今月はありません	—
なかよし離乳 食教室	後期 25日 10:30~12:00	(保健所) 8~9カ月児 (無料・予約制)

その他 母子健康手帳と体温計をご持参ください
 問い合わせ 保健センター

●日本脳炎予防接種

- 5月1日から8月31日まで、予防接種委託医療機関で接種することができます。
 対象 満3歳~90カ月(7歳6カ月)の小児
 方法 1期初回2回(1~4週間隔)、昨年2回済んだかたは、追加1回を受けてください
 費用 無料
 その他 小学校4年生、中学校3年生の追加接種は、学校または保健センターで実施します。日程は後日学校からお知らせします
 問い合わせ 保健センター

●精神障害者家族会

- 日時 5月18日(木) 午後1時30分~3時30分
 会場 芦屋保健所
 問い合わせ 芦屋保健所健康課

●生き生き栄養講座(いずみ会リーダー養成講座)受講生募集

- 日時 平成8年3月まで年12回
 おおむね毎月第3水曜日午後1時30分~4時(ただし12月・平成8年3月は第1水曜日)
 第1回目は5月31日(水)です
 会場 芦屋保健所栄養室
 内容 健康づくりと食生活
 定員 30人(先着順)
 締め切り 5月10日(水)
 申し込み はがきに住所(連絡先)・氏名・年齢を記入のうえ、芦屋保健所健康課(公光町1-23)あて郵送

健康カレンダー

5/1~6/5

芦屋保健所

国道2号線業平橋東へ150m

内容	日時	対象・経費・その他
4カ月児健康診査 (股関節脱臼検診併設)	10日 24日 13:00~14:30	H7.1.1~1.15生まれ H7.1.16~1.31生まれ 母子健康手帳持参
3歳児心の健診	9・16・23日 9:00~10:45	満3歳児 しつけ子育て相談
3歳児健康診査	11日・6/1日 13:00~14:30	満3歳1カ月~4歳未満児 小児科・歯科・尿・栄養指導
アルコール依存症 家族会	12日 10:00~12:00	アルコール問題に悩んで いる家族(事前連絡要)
乳幼児歯みがき教室	17日 13:00開始	0~6歳児。歯ブラシ・コッ プ・母子健康手帳持参
歯科保健相談	17日 13:45~14:15	乳幼児、妊婦、中高年、一 般、高齢者の義歯等相談
こども心の相談 (予約制)	9日 13:00~14:30	ことばの遅れ、しつけ相 談(児童精神科専門医)
おとしより心の相談 (予約制)	17日 13:30~14:30	老人の痴ほう、不眠等相 談(専門医と保健婦)
心の相談(予約制)	18日 13:30~14:30	うつ、ノイローゼ、イライラ 社会復帰等専門医の相談
療育相談(予約制)	8日 13:00~14:30	心身障害の心配のある子 ども。専門医による相談
一般健康相談(有料 ・予約制)・妊婦健康 相談(無料・予約制)	12・19日・6/2日 13:00~14:00	診察・尿・血液検査・X線・ 心電図・エイズ検査ほか (妊婦相談は尿検査等、事 業所の健診は申し込み)
検便・水質検査	毎週月・火・水曜日 9:00~12:00	有料。特殊項目水質検査 などは第1・3水曜日